

ふくじゅそう

2017

1

No.37



病院の理念 地域とともに世界を視野に
信頼される最善の医療を

基本方針

1.質の高い安全な医療 2.救急医療 3.国内外の医療救援活動
4.地域連携 5.教育・研修・研鑽 6.患者・職員満足度の向上



福岡赤十字病院

日本赤十字社

新年明けましておめでとうございます。

迎春

昨年日本列島は、熊本地震そしてつい先日
の津波を伴う福島県沖の東日本大地震の余震と、
又もや自然災害に悩まされました。熊本地震の際に
は当院は被災地に最も近い赤十字医療機関として、全国から集結する赤
十字医療救護団の最前線中継基地として約3ヶ月機能いたしました。今
年も何か起こることを想定の上、赤十字の災害医療救護業務遂行のた
め、万全の準備を怠らないようにしてまいります。

昨年4月、病院には厳しい診療報酬の改定が行われました。「地域医療
構想」と合わせ、少子高齢化による社会構造の急激な変化に対する医療提



院長 寺坂 禮治

供体制の適正化、医療の構造改革への政府の強い
意欲を感じます。またその中で、地域包括ケアシステ
ム確立の重要性も更に強く認識させられました。

荒波の中ですが職員一同、今年も国民医療の安
全・安心を守るため弛まぬ努力をしてまいります。

本年もどうぞよろしくご支援ご指導
の程、お願い申し上げます。

新年明けましておめでとうございます。



皆様へご報告です。既にお気づきの方も多いかとは思いますが、このたび2016年10月より福岡赤十字病院脳“血管”内科は脳“神経”内科へと、科の名称が変更となりました。

昨今、脳梗塞の急性期治療は血栓溶解薬や血管内治療の進歩でまさにブレイクスルーを迎えています。意識障害や高度の麻痺を呈するような重症の脳梗塞であっても、治療の条件が合えば、目の前で意識が回復し、言葉を喋り、手足が動き出すといった魔法の様な場面に遭遇します。当院脳血管内科は開設から20年、このような急性期脳梗塞を中心として数多くの神経救急疾患の診療に当たってきました。一方で、一般外来においては生活習慣病を背景とした頭頸部血管病変の評価や治療だけでなく、意識障害、けいれん、頭痛、めまい、手足のしびれ・脱力、不随意運動からもの忘れに至るまで様々な神経症候に関して、院内外からたくさんのコン

サルトも受けています。ただ、科名のイメージからか、脳血管障害以外の神経疾患への対応が周知されていなかったことも時に耳にします。このため、受診の門戸を幅広く、わかりやすくするために科の名称を脳神経内科と変更しました。

スタッフは4名と従来通りの体制ですが、総合内科専門医や脳卒中専門医、脳血管内治療専門医、神経専門医が揃い、充実した中身の濃いメンバーとなっています。脳血管障害のみならず、中枢神経系の感染症、神経変性疾患、神経免疫疾患、末梢神経障害、てんかん、認知症、謎の神経症候などなど、急性・慢性を問わず脳神経領域の疾患が疑われる方がおられましたらいつでもお気軽にご相談下さい。

これからも、福岡赤十字病院脳神経内科をよろしく願います。



脳神経内科スタッフ(左から2番目が北山部長)

2013年4月に脳血管内手術を当院に導入するために赴任しました吉岡 努です。新たな治療法の定着のために、業務上の調整を行いながら徐々に万全の体制を構築してまいりました。手術症例数も年間に50症例を超えて増加傾向にあります。一昨年と昨年4月に脳神経内科医である脳神経血管内治療専門医が1人ずつ増員され、徐々に体制も充実して脳神経血管内治療指導医1人、脳神経血管内治療専門医2人の3人体制となりました。これまで以上に脳血管内手術が常に十分な体制下に行えるようになりました。これを機に、昨年10月に脳血管内手術を行う科として脳血管内治療科となりました。

脳血管内手術の特徴として、血管の中から病変へアプローチするため身体への侵襲が少ないことが挙げられます。その代表的な手術として動脈瘤コイル塞栓術【図1】、頸動脈ステント留置術【図2】があります。これに加えて脳血管内手術のみにしか行えない急性期脳血管再開通術（血栓除去術）【図3】があります。破裂動脈瘤の治療法としては開頭動脈瘤クリッピングよりも治療成績が良好であることが報告されました（The

Lancet 360:126-1274, 2002）。昨年、脳主幹動脈閉塞による脳梗塞急性期の治療法として血栓溶解療法（t-PA静注療法）よりも脳血管内治療による血栓除去術の方が有益であると報告されました（The Lancet. 2016 Apr 23;387(10029):1723-31）。以上のように従来の治療法よりも成績がよい治療法であることが明らかとなっています。今後もさらにその応用が拡大するものと予想されます。現在、当院ではいつでも血栓溶解療法（t-PA静注療法）、脳血管内治療による血栓除去術はもちろん、脳血管内手術が施行可能です。

脳血管内手術は従来の手術法にすべて代わりとなる治療ではありません。当院では最善の治療結果を得るために治療の選択において、常に脳神経外科及び脳神経内科の医師と協議の上で治療方針を決定しています。

急性期脳梗塞症例はもちろん未破裂脳動脈瘤、頸動脈狭窄症の精査、治療方針、脳動静脈奇形、硬膜動静脈瘻等について、いつでもご相談いただけますようお願いいたします。



図1:脳動脈瘤コイル塞栓術(ステントアシストコイル)

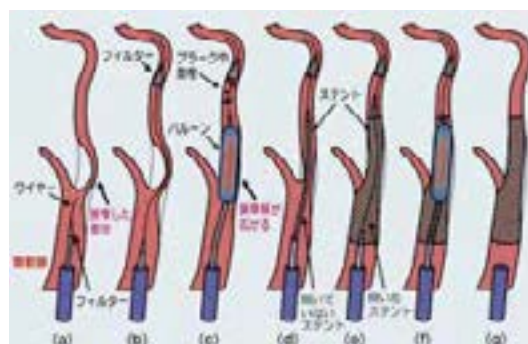


図2:頸動脈ステント術

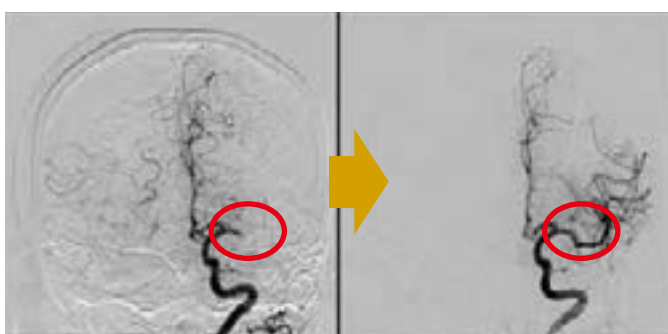


図3:血栓除去術 ステントリトリバー(右)を用いて血栓を取り除きます



入退院支援課・認知症ケアについて

入退院支援課 看護副部長 松山 麻須美

当院が地域医療支援病院の役割を担ってから、今年度で5年目を迎えました。

患者さんが当院の外来を受診された時点から、その後の療養生活を見据えた支援を早期に行うことを目的に、この度入退院支援課および総合相談センター業務が確立いたしました。昨年までは、メディカルソーシャルワーカー（MSW）2名と看護師1名で対応していましたが、平成28年10月から6名の退院調整担当で患者さんの支援を行っています。

前方連携においては、集患者・増患者を行うために当院の実情を分析するとともに、周辺地域の医療環境に応じた対策実施が必要と考えています。そのためにまず必要なのは、当院職員が急性期病院としての役割をしっかりと認識することです。入退院支援課では「断らない医療提供を！」を念頭に、患者さん・ご家族の声を聞く・聞ける体制を整えています。また後方連携においては、急性期治療から回復期・療養へと出来る限りの患者さん・ご家族の要望を取り入れた後方施設を選択できるように、地域の医療機関の皆様と顔の見える連携を行い、多くの施設とチーム連携に取り

組ませて頂いています。

これまで以上に院内および地域の医療機関の皆様と連携し、安心安全な療養環境が提供できるようチーム一丸となってその使命を果たしたいと思います。

認知症ケアについて

入退院支援課 認知症看護認定看護師

宮原 あや

福岡赤十字病院では、認知症のある方とご家族が安心して治療を受けられること、また生活機能を維持することを目標に、認知症ケアを行っています。医師・看護師・MSW等で「認知症ケアチーム」を立ち上げ、多職種協働で院内の認知症ケアの質向上に取り組んでいます。

また、11月から外来通院中の患者さんを対象に「もの忘れ相談窓口」を開始し、地域で生活をする方への支援を行っています。認知症があってもその人らしい生活が継続できるよう、連携機関の皆様との連携を取っていきたいと思います。



入退院支援課・医療連携課スタッフ



地域とともに！

登録医紹介

当院の基本理念である「地域とともに世界を視野に信頼される最善の医療を」を行うための心強いパートナーとなる登録医の先生方をご紹介します。『松本整形外科医院』です。

松本整形外科医院

先生に
インタビュー

当院との地域連携について どのようにお考えですか？

非常に理想的な形であると思っています。勝手知ったる関係なので、お願いするとすぐに引き受けてもらえて、大変助かっています。

アピールポイントについて

最近では独居の高齢者や、老々介護の世帯が増えており、家庭での介護力は低下していると思われます。当院では大病院のような大きな手術はできませんが、たとえばご高齢の方が骨折してしまい日常生活に支障がある、といった場合に、ご入院頂いて日常生活への復帰に向けて、しっかりとサポートを行うことができます。また通所リハビリ「デイケアまつかぜ」も併設しており、介護との連携もスムーズに行えます。

大病院と在宅医療の中間に位置する有床診療所として、ご高齢の方から小さなお子さんまで、地域のニーズに合わせた医療の提供を行っています。

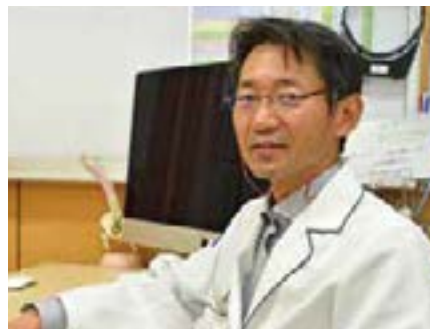
地域の皆様にメッセージをお願いします

骨折などで、大病院に行くほどではないが日常生活が難しい、という方は、是非お問い合わせ下さい。手術室・入院ベッド・リハビリ室を備えた当院で、日常生活復帰へのサポートをいたします。

また、「ロコモティブシンドローム（ロコモ）」という言葉を知っていますか？ロコモとは、筋肉、骨、関節、脊椎といった運動器に障害が起こり、「立つ」「歩く」といった機能が低下している状態をいいます。進行すると日常生活にも支障が生じてくるので、予防が大事になります。このロコモの程度を簡単に調べるのに「ロコモ度テスト」というものがあります。例えばその中の「立ち上がりテスト」では、40cm程の高さの椅子から、手を使わずに脚だけで立ち上がることができるかどうかをみます。右脚ができれば、左も試してみてください。両方でできればOKですが、できなければロコモの可能性があるので、お近くの整形外科で相談してみてください。

対象疾患：整形外科・リウマチ科・
リハビリテーション科

得意分野：上肢の局麻手術（バネ指や手根管・
肘部管症候群、手指の骨折など）



特徴

地域密着型の、入院ベッドを備える有床診療所です。骨折の徒手整復・固定・小手術も行っています。脊椎の椎体骨折については、2週間の安静臥床の後、体幹コルセットを付けて座位・立位・歩行等のリハビリを行い、社会復帰の手助けをいたします。また骨折予防の観点から、X線骨密度測定装置による骨粗鬆症の診断と薬物治療にも力を入れています。特に閉経後の女性は骨密度の測定をおすすめします。

基本情報

- ◎ 院長：松本 光司
- ◎ 住所：福岡市中央区笹丘1-34-2
- ◎ TEL：092-781-6085
- ◎ 診療科目：整形外科・リウマチ科・
リハビリテーション科
- ◎ 診療時間：午前9時～12時
(新患受付は11:30まで)
午後14時～18時
(新患受付は17:30まで)
※木・土は午後休診
- ◎ 休診日：日曜、祝日、木曜・土曜午後

当院では、『女性患者さんを対象とした 腹圧性尿失禁の治験』を実施しております。

※この治験に参加いただける患者さまの主な条件は下記の通りです

- 20歳以上80歳未満の方
- 腹圧性尿失禁の症状が3ヶ月以上
続いている方
- 1日1回以上尿もれがある方
- 尿もれに対する手術を受けたことがない方
(TVT手術/TOT手術など)
- 尿もれ等の症状を記録できる方
- 走ったり階段の昇り降りができる方
(1時間パットテストの実施が可能なる方)

※他条件については、お問い合わせ下さい

対象となる患者さんがいらっしゃいましたら、ご紹介をお願い致します。

【相談窓口】 福岡赤十字病院 泌尿器科外来 ☎092-521-1211 (代表)
◆お問い合わせ時間／平日9:00～16:00



福岡赤十字病院外来診察担当医一覧表

○：新患若しくは再来 ▲：午後再来(予約のみ) ●：(予約のみ) 再来は予約制です

平成29年1月1日現在

科別	氏名	月	火	水	木	金	専門分野	備考
総合診療科	居原 毅	○				○	内科一般・生活習慣病・睡眠時無呼吸症候群	
	平 峯 智	○		○				
	非常 勤	○			▲	○		
消化器内科	青柳 邦彦			▲			消化管(食道・胃・小腸・大腸)	副院長
	平川 克哉		○		▲			
	工藤 哲司		▲	○				
	藤岡 審	▲				○		
	野村 亜貴子		▲		○			
腎臓内科	樋口 梢	○				▲	腎臓	部長
	和智 博信					▲		
	満生 浩司	▲	○	○				
	黒木 裕介			▲	○			
	中川 兼康	○	▲					
糖尿病・代謝内科	伊豆丸 聖祐	○	▲				糖尿病	副部長
	荒瀬 北斗	▲				○		
	内田 裕士							
	筒 信 隆	●			●			
	佐々木 伸浩		○	○		○		
内分泌内科	川本 徹	○		●	○		内分泌・糖尿病	部長
	井本 真由美		●			●		
	於久 祐太郎				●			
	中川 瑞穂		○	○		○		
	目野 宏		○	●	●			
循環器内科	古財 敏之	○				●	循環器	副院長
	林谷 俊児		●	○				
	増田 征剛					○		
	松川 龍一				○			
	栗林 祥子					○		
呼吸器内科	甲木 雅人			●			呼吸器一般	部長
	出口 裕子							
	河口 知允	○			○			
	工藤 国弘			○	▲			
	川床 健司							
肝臓内科	高尾 智彬						肝疾患一般 ※木曜日は隔週交代制	部長 副部長
	早田 哲郎		○	○		○		
	西澤 新也	●						
	久能 志津香							
	土屋 直壮	○						
血液・腫瘍内科	谷本 一樹		○		●	○	血液疾患一般、固形腫瘍の化学療法 ※水曜日は隔週交替制	部長
	坂本 佳治							
	山中 育未							
	北山 次郎	○		○				
	三本木 良紀		○		○			
脳神経内科	岡田 卓也					○	脳卒中・神経疾患 脳卒中 脳卒中	部長
	山中 圭							
	井上 靖	▲	●	○		○		
	山内 雄介			▲				
	石丸 敏之		○			▲		
膠原病内科	中村 啓二				●		感染症一般 ※水曜日は隔週	部長
	鎗水 彰			●				
	寺坂 禮治		○	○		○		
	中房 祐司	○	○		○			
	本山 健太郎	○	▲		○			
外科	小島 雅之		○		○	○	一般外科、消化器外科、肝胆脾外科、乳腺・内分泌外科、呼吸器外科、腹腔鏡下・胸腔鏡下手術、腎移植、腎不全外科、ERCP、PTCD、EST	院長 副院長 部長 部長 副部長 副部長 副部長
	橋爪 健太郎		○		○	○		
	山元 啓文		○		○	○		
	井上 重隆		○		○	○		
	小倉 康裕		○		○	○		
	堤 宏介		○		○	○		
	寺坂 壮史	○	○		○	○		
	河野 博		○		○	○		
	山本 猛雄		○		○	○		
	長尾 晋次郎		○		○	○		
	非常勤(乳腺)	○						
	河野 博之		▲					
心臓血管外科	宮本 和幸		○		○		心臓外科、大動脈瘤、血管外科	副院長 部長
	馬場 啓徳				▲			
	瀧川 友哉							
	継 仁	○				○		
	吉岡 努				○			
脳神経外科	平田 陽子		○				脳神経外科疾患	部長 部長
	天本 宇昭	●	●		●	●		

急患の方はこの限りではございません。

●診療開始時間……午前8時40分

●平日時間外及び休日急患診療(当直体制)

◎内科系※ ◎外科系※ ◎循環器科 ◎産婦人科

※当直体制のため必ずしも専門医の診療は受けられないことがありますのでご了承ください

◎小児科 平 日(祝日を除く) 17時～19時30分

土曜日(祝日を除く) 13時～19時

[備考] 急患以外の一般の患者さんにつきましては、土、日、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)は休診日です

再来は原則予約制です。出張等で休診する場合がありますので、事前に各診療科にお尋ねください。

☎092-521-1211(代表)

病院管理者【院長】寺坂 禮治【副院長】河野 博之、中房 祐司、目野 宏、青柳 邦彦【副院長兼事務部長】古澤 智久【看護部長】松永 由紀子
平成29年1月発行(第29号)福岡赤十字病院企画推進課 〒815-8555 福岡市南区大楠3丁目1番1号 TEL092-521-1211 URL <http://www.fukuoka-med.jrc.or.jp>

科別	氏名	月	火	水	木	金	専門分野	備考
皮膚科	竹下 弘道	○	○	○	○	○	一般、尋常性乾癬、アトピー性皮膚炎	部長
	武 信 肇	○	○	○	○	○		
眼科	大石 誠一郎	○	○	○	○	○	糖尿病網膜症、白内障、緑内障 ※第1・3・5木曜日○	副部長
	瀧 堀 美子	○	○	○	○	○		
整形外科	泊 貴 二	○				○	脊椎・脊髄外科 関節外科・リウマチ リウマチ・関節外科 膝関節・脊椎外科・一般 手の外科・外傷・一般 外傷・一般 外傷・一般	部長 部長 副部長 副部長 副部長 副部長 副部長
	伊藤 康正	○		○		○		
	瀬尾 健一	○				○		
	由布 竜矢	○				○		
	安原 隆寛	○		○		○		
	馬場 寛	○		○		○		
	大角 崇史	○		○		○		
産婦人科	西田 真 婦					婦 産	周産期、悪性腫瘍、良性腫瘍、腹腔鏡手術	部長 部長 副部長 副部長 副部長 副部長 副部長
	遠城 幸子		産婦	産婦		婦 産		
	一戸 晶元		産婦	産婦		婦 産		
	赤澤 宗俊			婦 産		婦 産		
	二尾 愛			婦 産		婦 産		
	吉田 純子			婦 産		婦 産		
	中原 一成	産婦	産婦			産婦		
小児科	愛 甲 碧			産婦	産婦	産婦	循環器 腎疾患 新生児 一般・腎疾患 一般・腎疾患 一般・神経 一般 神経 ※循環器(第1金曜日午後のみ)	部長 部長 副部長 副部長 副部長 副部長 副部長
	井町 佑三							
	原田 達生		○		○			
	波多江 健	○		○		○		
	久保 鋭治			○				
	檜山 麻衣子	○				○		
	黒木 理恵		○		○			
耳鼻咽喉科	高田 結		○		○		頭頸部外科、鼻内視鏡手術、頭頸部再建手術、一般(再来は完全予約制)	部長 部長 副部長 副部長 副部長 副部長 副部長
	尾田 琢也	○				○		
	非常勤(神経再来)							
	非常勤(循環器再来)							
	福島 淳一	○		○		○		
	加藤 明子	○		○		○		
	高良 佳江			○		○		
形成外科	津田 雅由	○		○	▲		再建外科・外傷・先天性疾患	副部長
泌尿器科	後藤 健		●		●	○	尿路結石、排尿機能障害、尿路性器腫瘍、尿路感染症、腹腔鏡手術	部長 副部長 副部長 副部長 副部長
	柚木 貴和		●		○	●		
	上田 耕平				○	●		
	種子島 時祥					○		
	牟田口 淳					○		
精神科	芝田 寿美男	●	●	●	●	●	一般・行動療法・強迫性障害 完全予約制、新患は月・水・金	部長
	非常 勤			●	●	●		
	左 坐 春喜	○	○	○	○	○		
	榊山 哲郎	○	○	○	○	○		
放射線科	井上 昭宏						検査依頼(CT・MRI・RI等)のみ・電話予約制	部長 部長 副部長 副部長 副部長
	西岡 亜祐子							
	中島 裕子							
	渡部 浩史							
麻酔科	江口 明						術中管理	部長 部長 部長 部長 部長
	迎 雅彦							
	堀江 利彰							
	津田 幸毅							
	名西 紀子							
病理診断科	秋吉 瑠美子						人体病理一般	部長 部長 部長 部長 部長
	西川 文							
	森 侑治							
	藤田 綾							
検査部	西山 憲一						検体検査管理	部長 部長 部長 部長 部長
	友尻 茂樹							
	荒 武 憲司							
	皆川 雄郷							
救急科	村瀬 美奈子						救急(各種中毒疾患含む)	部長 部長 部長 部長 部長
健診部	田中 道子						人間ドック・健康診断・循環器	部長

●受付時間 月曜日～金曜日(初診・再診) 8:10～11:00

※下欄に記載のない診療科・曜日については上記通りの受付となります

●総合診療科	(初診)	木曜日のみ内科担当医による交替制です。
●呼吸器内科	(初診・再診)	月・水・木・金のみ
●心臓血管外科		火・木のみ 8:10～11:00
●脳神経外科	(初診・再診)	水曜日は手術日とさせていただきます
●皮膚科	(初診)	月 8:10～10:00(火～金は通常通り)
	(再診)	完全予約制
●眼科	(初診)	火・木 8:10～10:00(月・水・金は通常通り)
	(再診)	完全予約制 ※第2・第4木曜日は新患のみ
●整形外科	(初診)	木 8:10～10:00(月・水・金は通常通り)
	(再診)	火曜日は手術日とさせていただきます
●産婦人科	(初診・再診)	火・木 8:10～10:00(月・水・金は通常通り)
●耳鼻咽喉科	(初診)	火・木 8:10～10:00(月・水は通常通り)
	(再診)	金曜日は紹介患者さんと予約のみとさせていただきます。
	(再診)	金曜日の紹介患者さんの受付は、午前10時までです。
●精神科	(初診)	完全予約制
	(再診)	月・水・金のみ(完全予約制)
●歯科	(初診)	完全予約制
	(再診)	完全予約制

患者さんの紹介につきましては地域医療連携室で承ります。
(時間外・土日祝日につきましては夜間受付に切り替えて24時間体制でお受けします)</